

河川工学研究室 学生生活について

研究室の学生生活

試問を中心とした日々の積み重ねが卒論・修論に繋がる！！

試問

自分や他の学生の
テーマを深く学ぶ

水理研究会

河川・流域技術研究会

他の大学や第一線で活躍する技術者の研究や考え方を学ぶ

河川勉強会・輪講

教職員と学生全員で教科書の
水理学・河川工学を学ぶ

学会参加（国内外）

現地調査・実験など

学生が自分で論文を書き、先生と議論しながら研究成果をまとめ上げることで着実に力と自信を身につけます

卒業論文・修士論文



研究室のメンバー

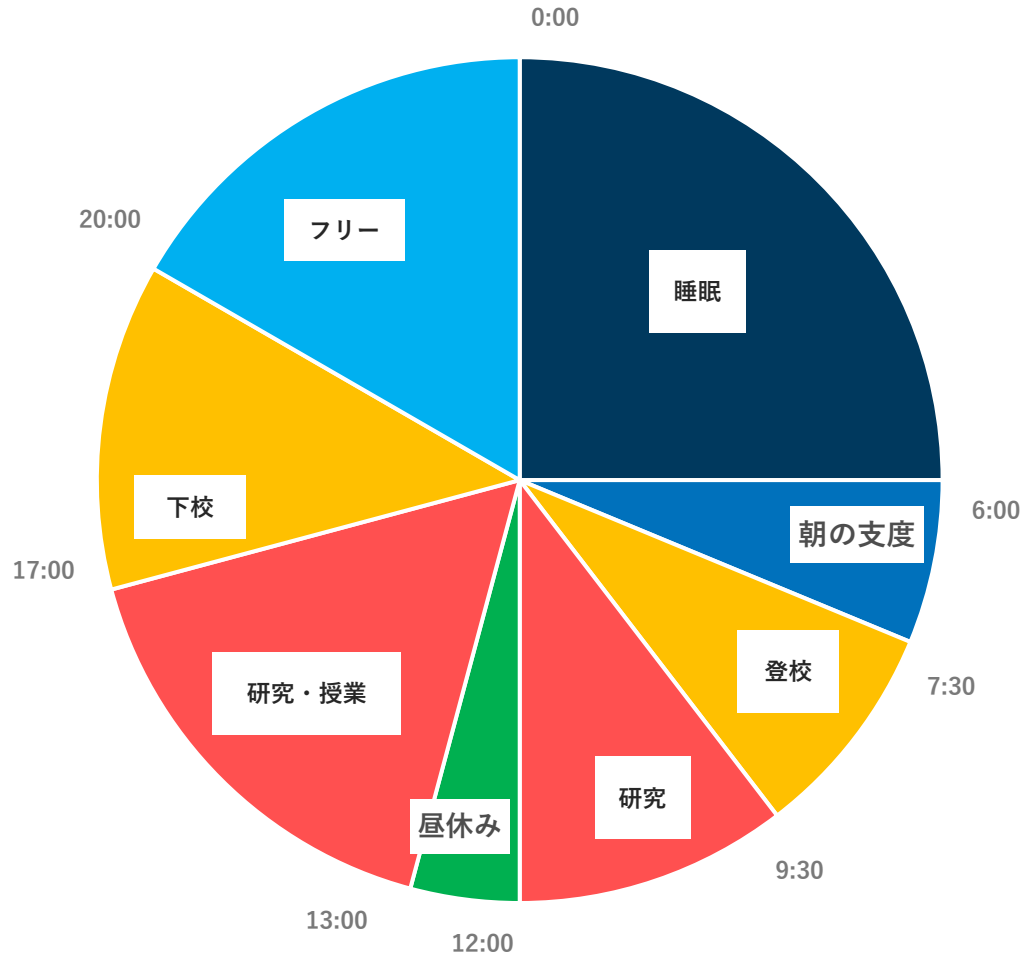
2022年3月撮影

教授	1名
准教授	2名
助教	1名
専任研究員	1名
秘書	1名
博士後期課程	1名
社会人ドクター	3名
博士前期課程	6名
学部生	1名

計 17人

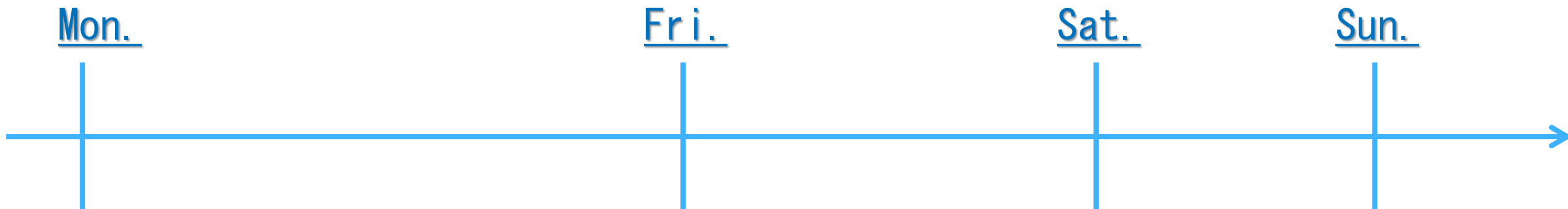
一日の生活

一日の生活



- ✓ 学生が登校するのは9時半から10時半の間
- ✓ だいたい12時くらいから1時間くらいはネットを見たい、友達とご飯を食べたいして休んでいます
- ✓ 下校は17時以降であれば自由に帰れます
- ✓ 遅くまで残る必要もないですし、予定があるのであればぴったりに帰る人もいます

1週間の流れ

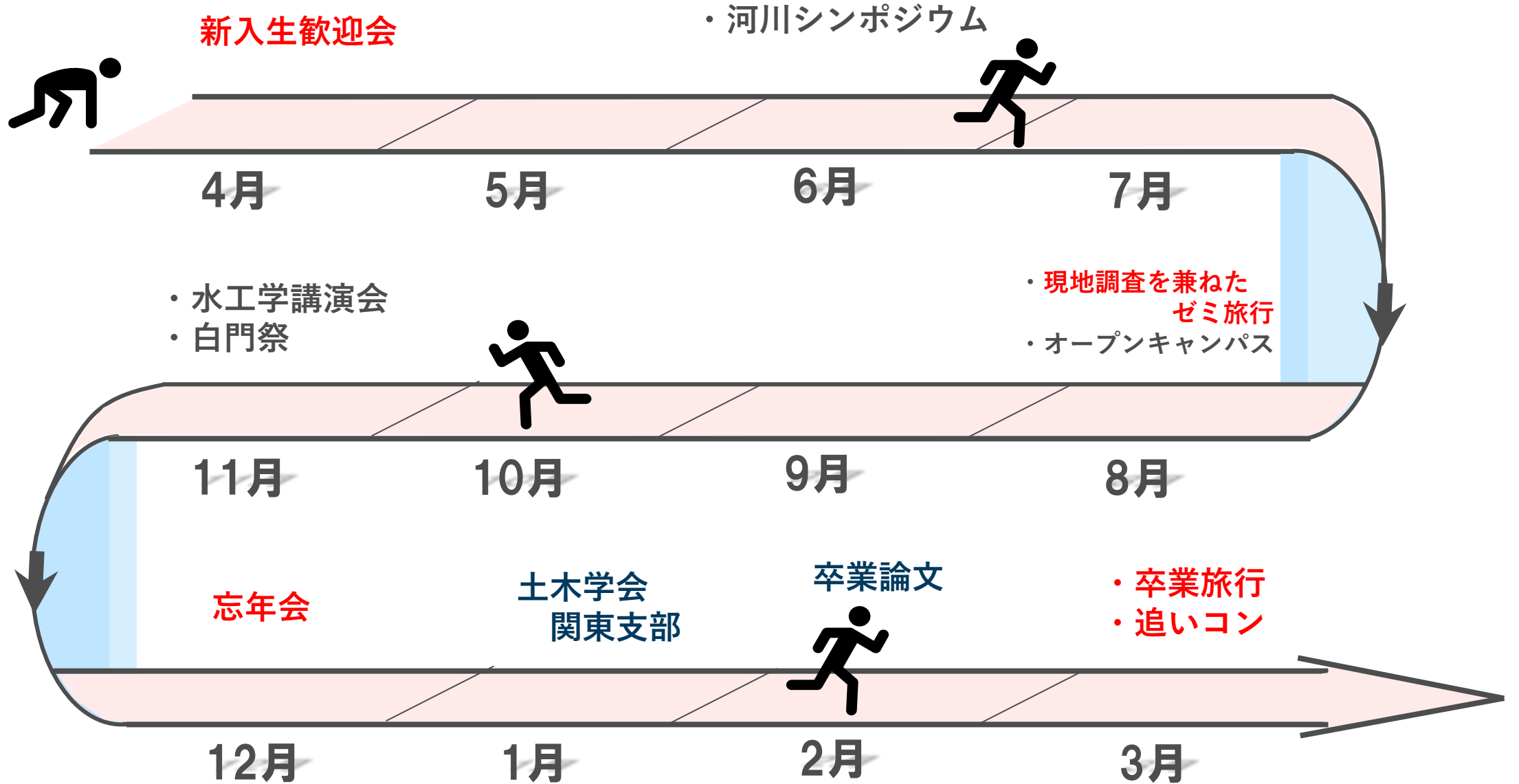


- ✓ 授業が週2回くらいあるので、その勉強や、自分の研究の勉強をしています
- ✓ たまに頼まれてほかのこともやりたいするかも

- ✓ 金曜日は土曜日に試問という発表の場があるのでそのスライドづくりをします
- ✓ 土曜日は今週やったことや今考えていること、議論したいことなどを話します
- ✓ 最初は緊張しますが、試問のおかげで方向性の確認ややることを明確にできるのでとても大切です

- ✓ 日曜日はみんな思い思いのことをしています
- ✓ いまはあまり出かけられないですが、ドライブに行きたい人もいます

一年間の流れ



一年間の流れ(今年度の主な学会や現地調査)

今年度も各地で学会及び研究発表、
現地調査を行っています。

緑：現地調査
赤：国際学会
青：国内学会



石狩川(北海道)

土木学会年次講演会
流体力学会年会
(京都府)

ICFM9(筑波)

河川技術に関するシン
ポジウム(東京都)

土木計画学研究発表会・
秋大会(沖縄県)

土木学会関東支部研究発表会(オンライン)
Thesis2022(フランス開催オンライン参加)

土木学会水工学講演会
(愛媛県)



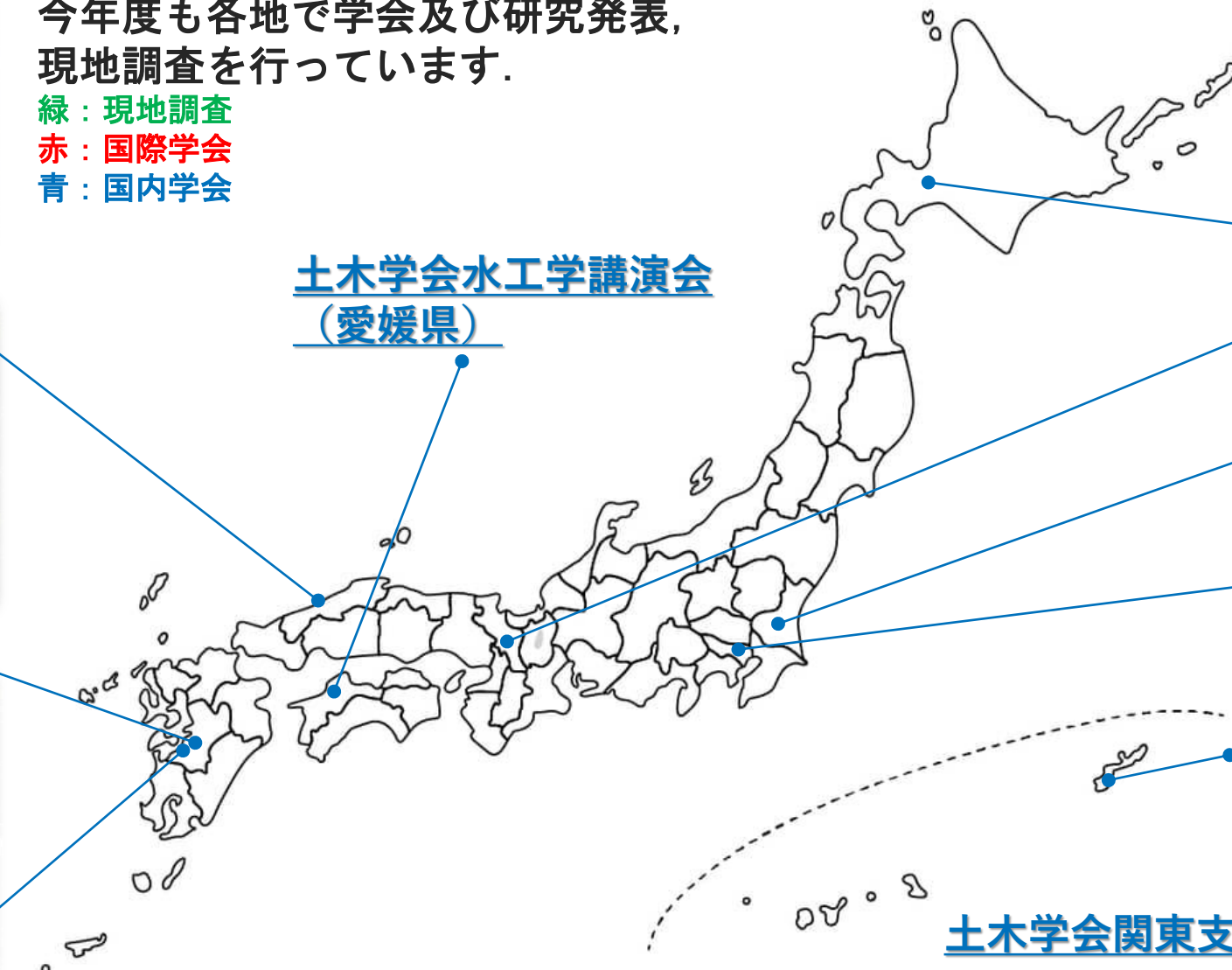
斐伊川(島根県)



川辺川(熊本県)



人吉市・球磨川(熊本県)



他の研究室との違い

- ✓ 河川工学研究室は、日本の他の大学の土木学科の研究室と比べても**最先端の研究**をしています
- ✓ そのため、**最新の日本での災害の分析**や今後への生かし方について研究することができます
- ✓ 他の研究室では、データを頂くことができなかつたり、そこまで分析できないことも、河川工学研究室では行えます
- ✓ 例えば、令和2年7月豪雨の研究を行ったり、平成27年9月関東・東北豪雨での鬼怒川の解析なども私たちの研究室で行ってまいります。

- ✓ また、福岡先生は、**土木分野での第一人者の先生**なので、水に少しでも関係することであればなんでも勉強できます
- ✓ 河川工学研究室では、計算による解析が多いですが、解析と法律や条例などと絡めた**川中心のまちづくり**について研究している学生もいます

福岡研を希望する学生へ

福岡研究室はやる気のある学生を大歓迎します。研究テーマを通じてしっかり勉強することで、モノの考え方や問題の本質を見抜く力が養われ、自信を持って社会に出ることが出来ます！！

興味のある学生は文化祭等で研究室に遊びに来てください。

